



## 安藤恭子先生 スペシャルインタビュー

今秋、安藤恭子先生が描かれた絵本『オカリナともりのどうぶつたち』が出版されました。そこで、安藤先生に絵本を描かれたきっかけを伺いました。

(安藤恭子先生より)

私はライフワークとして、絵画制作や依頼された冊子の表紙絵や挿絵を多く手掛けてきた。3年程前に、オカリナ奏者の妹が「自分の師である三牧先生（医学博士）がオカリナのお話を作られ、それに合わせた絵を描く人を探している。お姉ちゃん描いてみない？」と話をもちかけて来たのがきっかけだった。

初めに登場する沢山の動物達の探求をし、全体の構成を工夫してみた。今年に入って約3か月かけて一気に描き上げた。紙はキャンバス地仕様を使い、描画材料は私のオリジナルのスプレー画を基調に色コンテ、色鉛筆、アクリル絵の具を組み合わせ、できるだけ画角を整理して単純化を図り、読み手の想像力をかき立てるように工夫してみた。たった30枚程ではあるが、100枚位描いて選定した。

月刊誌 MOE や図書館の絵本等がとても参考になり、描いている中で色々な創意工夫ができて、本の中に入り込み、色んなものがみえてきて楽しく描くことができた。



『オカリナ と もりのどうぶつたち』

文 みまきたかし

絵 あんどやすこ

発行所 ブイツーソリューション (2021.9.10 発行)

※図書館にあります。貸出可。

## Contents

- ①『オカリナともりのどうぶつたち』  
出版記念！  
安藤恭子先生スペシャルインタビュー
- ②図書館の思い出 Part4  
(入試広報課長 鈴木達哉先生)
- ③図書館 Q&A
- ④学生の絵本紹介
- ⑤図書館からお知らせ

## 図書館の思い出 Part4

入試広報課長 鈴木達哉先生

「図書館の思い出」という原稿依頼をいただいたが、実は私は人生62年、あまり図書館に縁のない生活を送ってきた。これは自分が38年間高校教師として人生を送り、人生の大半の時間を学校で過ごしてきたこと、私が国語の教師であること、ついでに言えば妻が図書館の司書であったことなどを考えればこれは驚くべきことである。

「お前は読書をしないのか」と尋ねられればもちろん答えは「No」である。もともと本を読むことは私の大切な趣味の一つであり、ここ数年は多少減ったとはいえ、それまでは1年間に300冊以上読書してきた。ではなぜ図書館に行かないかといえば、私は本に線を引いたり書き込みをしたりしたいのである。つまり、本を自分オリジナルな財産として所有したいのだ。もちろん図書館の本にそんなことをすることはできず、結果、自宅の書斎には付箋がついたり、ページの端を折り曲げられたりした「私だけの本」が山のように積み上げられた状態にある。

とはいうものの、実は私は図書館という場所は嫌いではない。莫大な冊数の本が整然と並べられた環境も素晴らしいし、大学の図書館などはいまだに静謐な空間が保たれており、その雰囲気はスピリチュアルを感じさせ、私に落ち着きを与えてくれる。現在、本学勤務の傍ら週2日、大学院で勉強をしている。といってもコロナ禍の現在、大学のキャンパスに入るのも制限があり、当然図書館にも入ることはできない。あと半年余りのキャンパスライフ。あの大学図書館の雰囲気をもう一度味わうことはできるだろうか。

## 図書館 Q&A

Q1.レポート作成で自分が調べている分野の数値データを知りたい。

(例) こどもの遊び場所の統計データ

A.参考図書コーナーの白書や e-Stat (政府統計の総合窓口) がおすすめです。e-Stat は日本の統計が閲覧できる政府統計ポータルサイトです。

<https://www.e-stat.go.jp/>

Q2.調べものは全てインターネットでもいいですか？

A.インターネット上は誰でも発信できるため見極めが重要になってきます。URL のドメインもその見極めの一つです (例: go.jp は日本の政府機関等)。図書、雑誌、新聞など、それぞれの特性を知るために、図書館の「パスファインダー」情報の「特徴・信頼性を確認しよう」を参考にしてみてください。

Q3.カウンターに司書がないことがあります。どうしたらいいですか？

A.大変申し訳ございませんが、2F 事務局にすることが多々あります。お手数ですが、2F まで呼びに来ていただくと助かります。



## 学生の絵本紹介



『わたしのワンピース』 にしまきかやこ著 こぐま社

Sさん (紹介)

この絵本の登場人物は、うさぎさんとワンピースです。空から落ちてきた真っ白い布と出会います。その布でうさぎさんがワンピースを作りました。作ったワンピースを着てお花畑を通るとワンピースは花模様になったり、雨が降ると水玉模様になったりと、次々と模様が変わるといふ絵本です。この絵本の中に「ミシカカタカ」や「ラランロロンわたしににあかしら」といったセリフがあります。絵本を読みながら子どもたちと一緒に言うことで、さらに楽しむことができます。また次々と模様が変わっていくのでページをめくっていくたびに次は何かな？と子ども達とワクワクしながら考えることができます。さらに、この絵本でワンピースを好きになるような絵本になっています。機会があればぜひ読んでみてください。



『りゆうが あります』 ヨシタケシンスケ著 PHP 研究所

Hさん (紹介)

ハナをほじったり貧乏ゆすりをしたり、つついやってしまういろんなクセ。いつもお母さんに注意される「ぼく」は「大人」を納得させるために、それぞれのクセに「正当な理由」をつけていきます。クセは「大人」にだってあるし、そんなに目くじら立てなくてもいいのではないかな。それよりも、子どものかわいいウソを頭ごなしに否定するのではなく、ちゃんと最後までつき合っただけの余裕こそが、本来親子に必要なものではないだろうかというあらすじで、あるあるなクセについて思いもよらない子どもの「言い訳」に引き込まれ、つつい笑ってしまいます。子どもだけでなく、大人も楽しく読める絵本です。そして、最後のお母さんのオチがとても面白いです。絵もかわくなっていて終始楽しく読める絵本です。ぜひ読んでみてください。

エマニテク短期大学 としょかんだより

5号 (2021年11月1日発行)

エマニテク短期大学 図書学術委員会  
〒510-0066

三重県四日市市南浜田町 4-21

TEL 059-356-8170

<https://www.jhumanitec.ac.jp/library/>

☆OPAC (蔵書検索) はこちらから↓



## 図書館からお知らせ

- ・図書館では皆様からのリクエストを受付中です。
- ・10月に新着本が多数入りました。多くのご利用をお待ちしています。
- ・現在、三重県図書館連携企画「がんについて知ろう」を展示しています。

## みなさんの原稿を募集します！

新刊紹介やおすすめ絵本の紹介などの原稿を募集します。  
採用された方には図書カードを進呈します。ご応募お待ちしております。  
詳しくは図書館カウンターまで。

